

## 2017年5月特集号 原稿募集

### 「空孔・溶質クラスタ・GPゾーンに関する最近の研究」

「軽金属」では、2017年5月号に標記の特集号を予定しております。

本特集号はミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会による企画であり、テーマは第129回秋期大会（2015年11月、日本大学）のテーマセッション3と同じです。本特集号では、研究論文、研究ノートをはじめ、技術報告、新製品/新技術紹介の投稿を期待しております。原稿の募集要領は下記のとおりです。なお、採択・掲載までの過程は、通常原稿に準じて編集委員会にて進めます。

#### 【特集号趣旨】

時効硬化型アルミニウム合金の用途は、従来の建築部材を中心とした構造材料に加え、自動車用材料など多岐にわたるものとなってきた。時効硬化型アルミニウム合金は、様々な加工法や成形法と、熱処理との組合せが必須であることは周知の事実である。また自動車産業においてはエネルギー効率を向上させ、かつCO<sub>2</sub>等の排気ガスを低減させるため、アルミニウム合金等の軽量素材を利用して車体の軽量化が図られており、時効硬化型Al合金の需要は今後ますます拡大すると見込まれる。熱処理による機械的・物理的性質の変化は、GPゾーン、最近では原子空孔と溶質原子で構成されるクラスタに支配されるとされ、高分解能透過型電子顕微鏡法、3次元アトムプローブ法、高感度熱分析法、陽電子消滅法やミュオンスピン緩和スペクトル法など、様々な方法によってその挙動を直接的あるいは間接的にとらえようとする研究がなされている。

本特集号では、各種時効硬化型アルミニウム合金を含む軽金属材料に対する種々の熱処理と、GPゾーン、溶質クラスタ、原子空孔の挙動との関連について明らかにすることを目的として、これら合金の最近の時効硬化、時効析出に関する研究ならびにそれらの現象を有効に検出すると考えられる手法についての最近の研究論文等を募集します。

#### 【特任編集委員】

松田健二（富山大学）、西村克彦（富山大学）、

#### 【原稿募集要領】

募集原稿：研究論文、研究ノート、技術報告、新製品/新技術紹介

投稿締切：2016年10月20日

原稿は、本誌投稿規程ならびに執筆要領に従って、投稿審査システムを通じて投稿して下さい。また、特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「特集号」とご記入下さい。

#### 【投稿予備登録】

投稿予定者は、2016年9月30日までに、予備登録下さい。

「特集号予備登録」と題記して、①原稿の種類、②題目、③著者、④投稿予定日、⑤申込者の連絡先（〒、住所、所属、e-mailアドレス）を明記の上、E-mailで下記までお送り下さい。

#### 【問合せ先】

一般社団法人軽金属学会 編集委員会 事務局

Tel : 03-3538-0232 Fax:03-3538-0226 E-mail:kimura@jilm.or.jp